

## 9月定例記者会見の概要

1 日 時 令和3年8月25日(水) 9時30分～10時30分

2 場 所 本庁舎3階 第一会議室

### 3 出席者 <報道機関>

- ① 朝日新聞社 南相馬支局(南相馬記者クラブ会員)
- ② 河北新報社 南相馬支局(南相馬記者クラブ会員)
- ③ 毎日新聞社 南相馬通信部(南相馬記者クラブ会員)
- ④ 読売新聞社 南相馬通信部(南相馬記者クラブ会員)
- ⑤ 福島民報社 南相馬支社(南相馬記者クラブ会員)
- ⑥ 福島民友新聞社 相双支社(南相馬記者クラブ会員)
- ⑦ NHK 南相馬報道室(南相馬記者クラブ会員)
- ⑧ 時事通信社 福島支局(南相馬記者クラブ準会員)

計 8 社

### <市側>

・市長・総務部長

(テレビ会議)

- ・林副市長・常木副市長・教育長・鹿島区役所長
- ・復興企画部長・市民生活部長・健康福祉部長
- ・健康福祉部新型コロナ対策担当理事・こども未来部長
- ・経済部長・経済部農林水産担当理事・経済部企業支援担当理事
- ・建設部長・総合病院事務部長・教育委員会事務局長

計 17 人

(司会進行) 秘書課長

(会議記録) 秘書課広報広聴係

### 【市政報告】

#### ◆最近までの出来事

それでは、前回8月2日の記者会見から最近までの出来事についてご報告申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症についてです。

まず、ワクチンの接種状況についてです。

2回目のワクチン接種率は、8月24日現在、81.1パーセントです。集団接種は8月28日で完了し、84.8パーセントの接種率を見込んでおります。

なお、全市民で見ると、79.5パーセントの接種率が見込まれています。

8月22日現在、全国の市と東京23区を合わせた815自治体の中で、南相馬市は4番目に高い接種率となっています。

これは、医師会、ボランティア、行政区長、民生委員、介護施設、小中学校及び高校、商工会、商工会議所、企業別接種を実施した事業所、相双地方振興局など県職員、南相馬警察署、原町郵便局、市の職員の皆様のご協力のおかげです。改めて、御礼申し上げます。また、長きにわたりスポーツ施設を集団接種会場として、占有してきたことについて、利用者の皆様のご理解、ご協力に感謝申し上げます。次に、市内の感染状況についてです。

8月1日から23日まで、感染者は32人確認されました。

まず、感染者の年齢、性別についてですが、60代以上の感染者は全体の約1割に留まり、高齢者の集団接種が始まった5月が3割を超えていた状況と比較すると、大きく減少しました。一方、30代以下の若者の感染者が増え、全体の約半数を占めています。また、性別で見ると、男性の感染者が約80パーセントを占め、女性を大きく上回っています。

次に、感染経路についてです。

職場関係の感染が11人で34パーセント、市外との往来を主な要因とする家庭内感染が9人で28パーセント、その他感染が12人で38パーセントとなっています。

次に、ワクチン接種と感染の関係性についてですが、感染者のうち、2回目の接種後2週間が経過した方は1人、1回目のみ接種又は2回目の接種後2週間を経過していない方は14人、接種を一度もしていない方は17人で、そのうち住民票がない方は11人でした。

以上から、次のようなことが言えるのではないかと考えています。

- ① 2回目のワクチン接種から2週間経過した場合の感染率は極めて低くなっている。
- ② 2回目のワクチン接種から2週間経過した場合でも、感染が全くなくなるわけではない。
- ③ 1回目のみ接種又は2回目の接種後2週間を経過していない場合であっても、未接種の方よりも感染予防効果があると推察される。

なお、全国的な知見としては、大阪府などで、ワクチンを2回接種した方の重症化率は低いとの調査結果が報告されています。

以上を踏まえて、次の対策をお願いいたします。

- ① 2回目の接種後2週間が経過した方は、引き続き基本的な感染対策を徹底してください。2回目の接種が済んだ方の感染も確認されています。これまで以上に感染力の強いデルタ株に注意してください。
- ② 1回目のみ接種又は2回目の接種後2週間を経過していない方は、抗体力がまだ強くありません。特に、2週間経過までの間、基本的な感染対策に加えて、感染リスクの高い行動は控えるなど、特に注意をしてください。
- ③ 未接種の方は、感染対策に加えて、本日8月25日から原町保健センターで始まる追加接種に、なるべく早く申し込んでください。

追加接種の予約は新型コロナワクチン接種日時変更サイトやコールセンターで受け付けています。

接種は予約制で、当面約2,000人、4,000回分のワクチンを確保しております。早期に申し込みをお願いいたします。

次に、「NIKOパーク」についてです。

4月3日の開所以来、122日が経過した8月2日に「NIKOパーク」の利用者が1万人を達成しました。

現在は、感染症対策として、1日の入場者数を、通常の半数となる225名に制限しているなかで、早期の1万人達成となりました。今後とも、安全にご利用いただけるよう施設の運営に努めてまいります。

また、「NIKOパーク」は、ジブチ共和国からいただいた、東日本大震災の義援金を活用して整備した施設です。8月17日には、市の復興ありがとうホストタウンとして交流を続けているジブチ共和国のアホメド・アライタ・アリ駐日特命全権大使が来市し、「NIKOパーク」を視察されました。

次に、「浜通りサテライト」の開設についてです。

8月19日に、福島県立医科大学は医療産業トランスレーショナルリサーチセンター、通称TRセンターの研究拠点として、南相馬市に、「浜通りサテライト」を設置し、今年11月に開設予定であることを発表しました。

医療関連分野は、福島イノベーション・コースト構想の重点分野にも掲げられており、今回の浜通りサテライトの開設を契機として、浜通りにおける新規産業分野として、医療関連産業の集積が図られること及び地域医療の強化などが期待されます。

#### ◆今後の予定

続いて今後の主な話題について触れたいと思います。

はじめに、市議会定例会の開会についてです。

9月1日から開会となる第5回市議会定例会に提出する案件は、議案29件、報告2件の計31件を予定しています。

主な案件としては、新たな小高診療所の開所に係る条例制定、補正予算などとなります。

詳細はのちほど総務部長より説明させます。

次に、「おだか月あかりコンサート」についてです。

10月2日に、小高観光協会主催による「おだか月あかりコンサート」が今年も浮舟文化会館で開催されます。

入場は無料ですが、新型コロナウイルス感染症対策のため、9月2日から、入場整理券を配布いたします。配布場所は、浮舟文化会館、小高交流センター、小高観光協会となります。

私からの報告は以上です。

部長からの報告のあと、皆さんからのご質問をお受けします。

#### 【各部からの報告】

##### ◆総務部

- ・第5回南相馬市議会定例会市長提出議案の要旨
- ・令和3年度南相馬市予算主要事業説明書（9月補正）

#### 【各部からの資料提供】

##### ◆小高区

- ・令和3年度おだか月あかりコンサートについて

**【質疑応答】**

**質問1：**

9月補正予算のうち、農業水利施設等保全再生事業における、ため池の再調査について、経緯を詳しく教えてください。調査を行った結果、線量が基準値を超えた調査箇所があったのか、また、調査を行った日付も教えてください。

**回答1：経済部農林水産担当理事**

令和元年東日本台風の後、台風の発生前に対策工を実施したため池の中から、元々線量の高かった箇所について調査を行いました。その結果、5か所で基準値である乾燥重量8,000ベクレル/kgを超えた数値が確認されたことから、457か所のため池を調査することになりました。457か所のうち、240か所で利用管理実態調査を行い、217か所で底質線量調査を行います。利用管理実態調査とは、今すぐに利用する必要がないため池について、今後農業用として利用する予定などがあるかを調査します。底質線量調査とは、今すぐに利用する必要があるため池について、線量調査を行うものです。

調査を行った日付については、後程、確認して別途お知らせします。

⇒回答内容

地区	箇所数	台風後調査日	台風後詳細調査日
鹿島区	1	2020年7月6日	2021年2月8日～ 3月17日
原町区	1	2019年11月8日～ 11月13日	2021年1月7日
小高区	3	2020年7月9日～ 7月10日	2020年12月25日～ 2021年1月29日

**質問2：**

福島県立医科大学の「浜通りサテライト」が開設されることについて、市内の医療産業の振興や市の発展につなげるために、市として具体的にどのような連携を図っていくのでしょうか。

**回答2：市長**

「浜通りサテライト」では、抗体などの研究を行うと共に、研究成果を通じて、企業等が技術の事業化をする際の支援なども行います。市は設置にあたり、立地場所の選定などについて協力を行いました。今後も、浜通りの企業に関する情報提供など、必要に応じて連携を図っていきたいと思います。

「浜通りサテライト」は、医師が常駐し、高度な研究を行う施設です。子ども達や学生が施設を見学する機会を作るなど、広く市民に関心を持っていただけるような取り組みについて、大学と協議していきたいと思います。

**質問3：**

新型コロナウイルスワクチンの効果について、南相馬市の統計では人数が少ないため、有効性が不明確ではないでしょうか。

ワクチンを接種しても抗体が増えていない人もいますといわれています。相馬市は抗体量調査を行うそうですが、南相馬市は同様の調査を行う予定がありますか。

**回答3：市長**

市内の感染者32人を分析したもので、統計的には数が少ないと思います。

結果として、2回目のワクチン接種から2週間経過した方の感染者数は、その他の方と比べて少ないことは事実です。市民の皆様には現状を理解していただくため、説明いたしました。

ワクチン接種後の抗体量については、増えづらい方もいること、一定の期間が経過と減少するという話も聞いております。抗体量調査については、統計的な分析が必要になりますので、市単独での実施ではなく、県など、広い地域を対象として行っていただきたいと思います。県などから要請があった場合は対応してまいります。

**質問4：**

次期市長選についてどうお考えですか。

**回答4：市長**

全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、県内には非常事態宣言が出され、市内でも、7月に発生したクラスターは乗り越えましたが、8月に入りほぼ連日数名の感染者が確認されている状況です。今は個人的なことより、特に新型コロナウイルス対策、ワクチン接種に一生懸命取り組むことで、責任を果たしてまいります。

**質問5：**

消費喚起応援事業について、補助金として交付されるとのことですが、補助率を教えてください。また、休止している食事券は再開するのでしょうか。取材をしていて、宴会を行うホテルなどの状況が苦しいと聞きましたが、そうした事業者への支援はお考えでしょうか。

**回答5：経済部長**

消費喚起応援事業の補助率は100%です。

**回答5：市長**

食事券は、県内に非常事態宣言が出ている為、休止しています。市内の感染状況や県の感染防止対策認定店制度の登録状況をみながら、時期を捉えて再開したいと考えています。

観光に訪れた方等を顧客としているホテルや旅館、農家民宿、イベント等に出店して市の産品を販売する事業者が、特に苦しい状況にあると聞いております。

経済対策は、現状を乗り切るための支援と、感染状況が落ち着いた後の消費喚起の二つが重要であると考えています。

市では、売り上げが減少した事業者に対し一時金の申請を受け付けています。加えて、飲食店の利用促進を目的とした食事券や消費喚起を目的とした商品券を発行します。県でも、食事券を発行したほか、時短要請協力金や売り上げが減少した事業者に対する一時金の交付などを行っています。

今後、浜通り12市町村等を対象とした国の交流事業を計画されると聞いていま

すので、動向をみながら対応を考えていきたいと思ひます。

**質問6：**

福島第一原発の処理水を海底トンネルで沖合約1kmから放出することが検討されていますが、市長のお考えを教えてください。

**回答6：市長**

処理水の放出については報道で知りました。まだ詳しい説明は受けておりませんが、国からしっかりと影響をお示しいただき、一番安全な方法をとっていただきたいと思ひます。また、風評被害が発生しないように取り組んでいただくことに加え、万一、風評被害が起きたときの対策についても、検討いただきたいと思ひます。

**質問7：**

この4年間振り返り、南相馬市の現状とこれから解決すべき課題について、教えてください。

**回答7：市長**

私が選挙の公約として掲げた38項目については、就任一年目に、市の総合計画にほとんど盛り込むことができ、市として着手進行しています。新型コロナウイルスの感染拡大等の影響で、完了していないものもありますが、概ね良い方向に向かっています。

現在は、新型コロナウイルス対策、台風などの災害対応にも力を入れて、取り組んでいるところです。

今後の課題としては、若い人達、子供達が少ないことが挙げられます。これまで、課題の解決に向けて、帰還促進に取り組んでまいりましたが、第2、第3弾となる継続した対応が必要だと考えており、移住定住策やホープ1.8といった出生率を上げる取り組みを進めています。やるべきことの道筋は見えていますが、当面は、新型コロナに伴う景気対策などを優先する時期と考えています。

**質問8：**

ワクチン接種ですが、住民票が無い人も希望すれば接種ができるのでしょうか。

**回答8：市長**

希望があれば、接種可能です。また、環境省による共同の職域接種も開始されるようです。なお、避難者の方々については、市民と同様に接種はできています。今後は、ワクチンの在庫を見ながらの対応となります。

以上